

まちと人、人と人をつなぐ
地域情報紙「ご近所通信」

平成30年度
第3号

かめ太郎の



ご近所通信

地域活動の担い手・仲間を作るための 神奈川区地域づくり大学校の卒業生が地域で活躍しています！

「神奈川区地域づくり大学校」(以下、大学校)は、「住んでいてよかった!」と思える地域を、自らの手で実現するため、地域の魅力を再発見し、困り事や心配事を解決する手法を区内外の事例から学ぶ場として、年々盛り上がりを見せています。

4期目を迎えた今期は、30代から80代までの幅広い世代の人たちが刺激し合いながら熱心に学び、18名の卒業生は、その学びから地域で実現したい「夢プラン」を完成させました。

今号では、今年2月に卒業した第4期の受講生の声と、裏面では、これから地域で始める活動と実践している活動をご紹介します。



受講生の声

大学校に参加してどうでしたか？

これまでの受講生の感想で目立つキーワードは、**新たな気づき** **視野の広がり** **仲間づくり** **達成感** です。様々な経験、仕事、年齢も違う人たちが大学校で出会い、神奈川区での暮らしをより良くするための大人の学びの場が大学校です。

受講満足度 平均 **92点!!**

(アンケート結果より)
受講後は「地域をもっと良くしたい!」という地域愛が、さらに強くなりました。

古谷 明人 さん



地域も歳も考えも違う、様々な参加者の方と楽しく話し合いながら、あっという間の半年間でした。完成した「夢プラン」も満足。一步を踏み出してみたいと思います。

井根 容子 さん



何か地域で活動したいという漠然とした思いが、これを地域でしたい!とはっきりとした目標を立てることができました。沢山の仲間もでき、参加してよかったと心から思っています。

大庭 秀和 さん



自治会長から勧められるがままの参加でしたが、防災や地域活動など、地元を知る良い機会でした。同期は年齢、経歴も異なるいろいろな人がいましたが、知り合えて今後の楽しみも増えました。

予告 「第5期神奈川区地域づくり大学校」は、9月から開校予定です!!

大学校は座学だけでなく、まち歩きや先進的な取組を見学し、参加者が楽しみながら実践的に学ぶプログラムです。次はあなたの番です。一緒に一步踏み出しませんか？



これから始める活動&実践している活動

※「夢プラン」…… 大学校で地域づくりについて学び、自分の住む地域の特性を生かした活動や困りごとを解決する活動などを受講生が考え描いたものが「夢プラン」です。



夢プラン名: **かなっくリーン**

櫻田 宏さん ● 神奈川地区

東神奈川駅周辺をゴミのないきれいな町にしたい!という思いを「夢プラン」のタイトルにこめました。このプランは、東神奈川駅(JR)と仲木戸駅(京急)を結ぶ「かなっくウォーク」の定期的な清掃活動を、地域住民や近隣の企業などを巻き込みながら実施していくもの。清掃後の懇親会や参加ポイントカードなど、この活動が長く続く工夫も取り入れるつもりです。

まずは町内会と連携して活動がスタートできたらと思っています。



夢プラン名:

菅田みどりの丘公園で遊ぼう

井田 文子さん ● 菅田地区

地域の中で顔見知りが増え、多世代が頼り頼られる関係になればと、第2・4土曜日に菅田みどりの丘公園で、子どもの外遊びを開催しています。ただ、課題としては、運営しているメンバーの人数が今後少なくなっていくということです。

「夢プラン」では、この会の継続への思いを描きましたが、その解決策として、単独の活動だけではなく、大学校で知り合った地域の方の力を借りたり、他の子育てグループを巻き込みながら、この活動を継続していきたいと思っています。

これから始める活動



夢プラン名:

やってよかった防災活動

3期生 坂田 大輔さん ● 神之木西寺尾地区

住んでいるマンション自治会には、防災活動をしている「防災ワーキンググループ」があります。「夢プラン」には、その防災活動で当初感じた義務感や閉塞感を、オープンで楽しく、やりがいのある活動に変えたいという思いを描きました。

まずは、会の中で意見が言える雰囲気を作るため、司会や書記を輪番制とし、いろいろな方面から防災について考える機会を増やしました。

今後は、他の自治会町内会との防災を通じた交流や、防災センターに出向いて研修に参加するなどの活動に取り組む予定です。



夢プラン名: **朝食は大事です!**
(活動名称「ふれあいっこ三ツ沢」)

1期生 小川 真奈美さん ● 三ツ沢地区

主任児童委員の活動の中で、朝食抜きで通学する子どもが授業に集中できないと知り、「夢プラン」では、子どもの食につながる活動について考えました。その思いをきっかけに、地域の仲間へ声をかけ、町内会や地域ケアプラザなどの協力を得て「ふれあいっこ三ツ沢」(子ども食堂)を開催することになりました。

食材は、地域の活動団体や企業などから寄付していただき、やりくりしています。旬の野菜を使った料理は、すべて地域の方の手作りです。宿題のサポートや遊び相手としての大学生ボランティアは子どもたちに好評です。

オープンして今年8月で2年。地域の子どものほっとできる居場所になっています。

実践している活動